

共同作業で水路改修を実施

今年度最後の大きな作業は土堀水路の改修です。場所は農事組合法人八方原の作業場の西側水路です。
3月8日、八方原の環境を守る会の役員が中心となって、水路にベンチフリューム10本セットしました。

この作業場は収穫作業や農機具の保管などさまざまな場面で活躍しますが、コンクリート製の水路は一部でしかなく、土がむき出しのところでは、雨で少しずつ泥が流れてしまっています。まず周辺の高さを測量します。どちらにどのように水を流すかの大事なポイントです。

小型パワーショベルで、水路を掘削し、そこにそれぞれベンチフリュームを据え付けていきます。

今回は一枚が重さ50kgもあるコンクリート性の四角いブロックも50枚購入しましたが、据付はもう少し後にすることとなりました。

一人で持ち上げるのは大変



ショベルで掘る役、吊り上げの準備をするもの、高さを見るもの、全員参加



公共下水道工事が進展中

下水道工事が進んでいます。昨年度の工事でふれあい朝市広場まで進んできていますが、そこから北側については図面と実際の既設管位置に差があるとのことで掘削作業は後回し。およそ100メートル北側から作業が始まっています。

幅およそ1メートル、深さは3メートルほど掘削し、下水管を埋設しています。5月31日までが工事期間だそうです。市道が通行できないなど、不便はあるけれど、公共下水道は大事な施設、もうしばらく辛抱いたしましょう。



工事が休みのときに引き上げられている機材



一人で持ち上げるのは大変

平成27年度八方原自治会新役員が決定

3月15日、八方原自治会の総会が行われ、平成27年度の新役員が決まりました。



退任の挨拶をする黒瀬さん

総会では踊り推進委員と募金委員の役職について話し合いました。平成26年度からふしの夏祭りへの自治会参加をしないことになったので、踊り推進の必要性がなくなったことの説明がありました。また募金委員については自治会費徴収と一緒に募金についても一緒にやっていることも説明され、この二つの役職について廃止することについて、話し合いました。その結果、廃止することが決まりました。

新役員の人事については予め、自治会長をはじめとする執行部が人選を進め、内諾を得た形で提案が行われました。特段意見もなく、提案はそのまま賛成多数で了承されました。その結果を表にしたものをこのページに掲載します。

平成27年度八方原自治会役員			
区長	石田 義博	地区宮総代	原田 孝次
公民館長	菊本 弘志	交通委員	黒瀬 秀俊
会計役	矢部 彰	交通委員	杉山 良明
会計監査	国重 正悟	子供会会長	末田 和宏
会計監査	中村 丈二	子供会副会長	杉山 良明
体育部長	重富 博文	母子保健推進員	青木 由紀
体育副部長	本田 二三	福祉委員	藤田恵美子
衛生部長	國田 宏	墓地管理委員	原田 孝夫
消防組組頭	本田 昇	防犯連絡員	田外 元明
消防組副組頭	原田 真澄	防火管理責任者	原田 哲夫
民生委員	佐々木 章子	共同募金推進委員	自治会長
老人会会長	神武 正信	※網掛けが改選役職、太字が新任役員	
老人会会計	原田 信義		

矢部会計役から報告があり、公共下水道の

使用開始に伴い、公民館の下水も接続することになったこと、そのために合併浄化槽の清掃などの予定外の支出があったので、資金手当てとして特別会計の積立金を一部取り崩すことが分かりました。

自治会長を退任する黒瀬さんは「2

春の激しい雪にびっくり



ものの数十分で真冬に逆戻り

3月10日、寒くなるとは天気予報が伝えていたものの、あつという間に銀世界になってしまいました。

何年かに一度、この時期に寒くて雪が降るときがあります。ほころびかけていたサクラランボの花びらにも白い雪がふんわりと積もっていました。

年前にここで決まったことが、つい先日のような気がしている。この2年間に自治会の皆さんのおかげで大過なく役を終えることができることに感謝したい。地域防災や高齢化などの諸問題はあるが、元氣あふれる八方原地区になってほしい。」と挨拶しました。

たった5歳、明治天皇御前で揮毫

天才書家「伊藤明瑞」の足跡 明治時代にとんでもない神童書道家がいたことを新聞で見つけました。たまたま知り合いのついで阿東町嘉年の龍昌寺住職竹林さんに原本に近いものを見せてもらいました。左の文字は漢字の辞典を引き写したものでありますが4万7千字を書いたものを木版にしたものです。



左端に「伊藤明瑞10歳謹書」と書かれている